

教科	国語	単元名	伝記を読んで感想文を書こう「手塚治虫」
----	----	-----	---------------------

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用

- ② - STEP 2 FG
- ② - STEP 3 FG

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・伝記に書かれている人物の人物像を捉え、分掌を呼んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる力

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・伝記について知り、本の内容を正しく読み取る力

単元における学習の展開 (全8時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第1次 (1時間)	○学習課題の見通しをもつ。 ・手塚治虫の代表的な作品についての紹介を聞く。
第2次 (4時間)	○「手塚治虫」を読み、手塚治虫の生き方について考える。 ・手塚治虫の生き方を読み取る。 ・手塚治虫の人物像を捉える。 ・伝記を読んで考えたことを感想文にまとめる。
第3次 (3時間)	○偉人の伝記を読み、自分の考えをまとめる。(☆) ・伝記をテーマにしたブックトークを聞き、興味をもった伝記を読む。 ・伝記を読み、その偉人の生き方や人物像、そこから考えたことをまとめる。(本時) ・友だちと交流し、考えを広げる。

本時のねらい

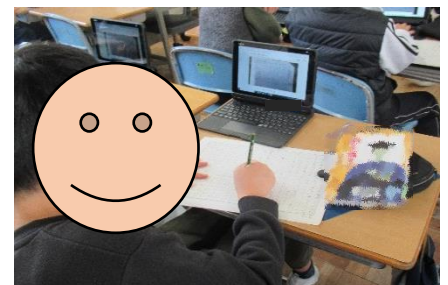
- ・伝記を読み、その人物の生き方について考えたことを書く。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (5分)	1. 本時の学習課題を確認する。 ・タブレットのオクリンクで配信されたモデル文を読み、感想文のイメージをつかむ。	500字程度のモデル文を作り、提示する。
展開 (35分)	2. 伝記を読みながら、自分の考えをまとめ、ワークシートに書く。 ・題名は「○○な人・(名前)」とする。 ・どのようなことを成し遂げた人物か。 ・心に残った言葉やエピソード、その理由 ・その人物の生き方について考えたこと	人物のエピソードや考え方と自分と重ね合わせてどのようなことを考えたのかワークシートに書き込む。
まとめ (5分)	3. 学習のふりかえりと次時の見通しを持つ。 ・このワークシートを元に、次回は原稿用紙に書くように見通しを持つ。	

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・活字を読むことが苦手な児童向けに「伝記の読み方」をテーマに言語担当がブックトークを行った。学校図書館にある伝記のシリーズごとの特徴を伝え、もくじを先に読み、気になる部分から読むことや巻末の資料、年表も活用してもいいことなどを伝えた。ブックトーク後は、学習漫画ではない読みものの伝記を手取る児童が増えた。
- ・人気のシリーズに集中するため、市立図書館からも借りて、複数冊の伝記を用意した。子どもにとって読みやすい伝記のシリーズをもっと学校図書館に置くようにしたい。
- ・本文の「手塚治虫」を読んで、同じ観点で感想を書いていたので、自分で選んだ伝記でも、書きやすい様子であった。
- ・同じ人物であっても、伝記の書かれ方や書き手の捉え方によって違う感想文となり、興味深かった。



モデル文を参考にしながら感想文を書く様子